

[問題1] 正解：2

令和5年（2023年）10月1日現在の老年人口は3,622万7千人で、総人口に占める老年人口の割合は29.1%となっています。

[問題2] 正解：1

1. ○ 平均寿命とは、0歳の平均余命を指します。日本では、昭和期以降に延び始め、令和5年（2023年）の平均寿命は男性で81.09歳、女性で87.14歳となっています。
2. × 平均寿命は50歳の平均余命ではありません。なお、令和5年（2023年）の50歳の平均余命は男性で32.60歳、女性で38.23歳となっています。
3. × 死亡者の平均年齢が平均寿命ではありません。
4. × 健康な60歳の健康寿命と平均寿命は同じではありません。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。3年ごとに発表されており、令和4年（2022年）の健康寿命は、男性が72.57歳、女性は75.45歳となっています。なお、平均寿命と健康寿命の差の期間は日常生活に制限があり、介護などを必要とする期間を意味します。

[問題3] 正解：4

令和5年（2023年）の国民健康・栄養調査において、運動習慣のある者の割合が最も多かったのは男女とも70歳以上です。

[問題4] 正解：4

1. × アスベストは石綿ともよばれ、以前は保温断熱の目的でビルなどに使用されていました。肺線維症（じん肺）、悪性中皮腫の原因になるといわれ、肺癌を起こす可能性があります。
2. × ダイオキシン類はごみの焼却に伴って発生する可能性がある毒性を持つ化学物質のことで、廃棄物焼却場、たばこの煙、自動車の排ガスなどから発生します。発がん性、催奇形性、神経毒性、生殖・免疫への影響がみられるとされています。
3. × 放射性セシウムは放射性物質のひとつです。食品中に含まれているものを摂取する、あるいは大気中に存在するものを吸入することによって内部被ばくを起こすことがあります。
4. ○ ホルムアルデヒドはシックハウス症候群の原因として代表的な化学物質です。シックハウス症候群は、住宅建材や家具などから発生する化学物質やカビ・ダニによる室内空気汚染による健康影響のことです。目がチカチカする、鼻水、のどの乾燥、吐き気、頭痛、湿疹などの症状がみられます。

[問題5] 正解：1

医療保険は医療サービスを中心に療養の給付が行われます。療養の給付には、i. 診察、ii. 薬剤または治療材料の支給、iii. 処置・手術その他の治療、iv. 居宅における療養上の管理及びそれに伴う世話、v. 入院及びその療養に伴う世話、その他の看護が含まれます。反対に、医療保険の給付の対象にならないものとして、人間ドックなどの健康診断や一般の薬局で購入する市販薬、美容整形、予防接種、正常な妊娠や出産に伴う費用などが挙げられます。

[問題6] 正解：1

1. ○ 承認の欲求は自尊の欲求ともいわれる、他人に尊敬されたい・認められたいという欲求です。
2. × 休息をとりたいという欲求は生理的欲求です。
3. × 他人と関わりたいという欲求は所属と愛情の欲求です。
4. × 自分の能力を発揮したいという欲求は自己実現の欲求です。

[問題7] 正解：1

胎児は母体から酸素供給を受けており、子宮内で肺呼吸をしていないため、出生後に行われる肺循環を機能させる必要がありません。また、栄養も母体から供給されており、経口からの栄養の消化・吸収も行っていません。そのため、胎児には肺循環に流れる血液を全身に流れるようにするための機能や肝臓を經由せずに栄養素が全身に流れていく機能があり、これらの機能による循環を胎児循環といいます。肺循環に流れる血液を全身に流れるようにするための機能としては左右の心房の間にある卵円孔や、肺動脈と大動脈の間にある動脈管（ボタロー管）があり、全身に母体から供給された栄養素を体循環に直接流入させる機能として臍静脈と下大静脈の間にある静脈管（アランチウス管）があります。なお、母体からは胎盤を經由して臍帯の中の1本の臍静脈を通り酸素や栄養が供給され、胎児からの二酸化炭素や老廃物は臍帯の中の2本の臍動脈を通り胎盤を經由して母体へと戻されます。

1. ○ 胎児は胎盤を經由して酸素を母体の血液から受け取っています。母体からの動脈血が胎盤へ供給されると、胎盤から臍帯の中を通る太い1本の臍静脈の中を流れて胎児に注がれます。臍静脈は胎児循環で酸素を最も多く含む血液が流れています。
2. × 臍動脈は胎児で発生した二酸化炭素や老廃物を母体に排泄してもらうために胎盤まで運搬する血管で、胎児循環の中では酸素が最も少ない血液が流れています。また、この血管は胎児の左右の内腸骨動脈から分岐しており、臍帯の中では2本となっています。
3. × 肺静脈は肺から心臓の左心房へ血液を流す血管ですが、胎児循環では肺でガス交換をしていないため、多くの血液は流れておらず機能していません。胎児循環で酸素を最も多く含む血液が流れている血管ではありません。
4. × 肺動脈は心臓から肺に血液を送る血管ですが、胎児循環では肺でガス交換をしていないため、多くの血液は流れておらず機能していません。胎児循環で酸素を最も多く含む血液が流れている血管ではありません。

[問題8] 正解：1

新生児の脳の重量は350～400gで、標準的な発育をしている児では、乳児期（生後8か月）に約2倍となり、5～6歳で成人の脳重量（1,200～1,400g）の約90%に達します。

[問題9] 正解：2

1. × Kaup（カウプ）指数は乳幼児の体格を評価するのに用いられます。計算式は体重（g）÷身長（cm）²×10です。
2. ○ Rohrer（ローレル）指数は学童の体格を評価するのに用いられます。計算式は体重（g）÷身長（cm）³×10⁴です。
3. × Tanner（タナー）の分類とは思春期における第二次性徴の成熟を評価する尺度で、5段階で評価します。
4. × Scammon（スキャモン）の発育曲線は臓器別発育曲線を一般型、神経系型、生殖器型、リンパ系型の4つに分類し、20歳の発育を100として、各年齢の値をその百分比で示しているものです。

[問題10] 正解：2

令和5年（2023年）の国民生活基礎調査における平均世帯人数は2.23人です。

[問題11] 正解：3

1. × 視覚は視神経（第Ⅱ脳神経）によって脳に伝えられます。
2. × 眼球の運動は動眼神経（第Ⅲ脳神経）、滑車神経（第Ⅳ脳神経）、外転神経（第Ⅵ脳神経）の3つの脳神経に支配されています。
3. ○ 顔面の知覚是三叉神経（第Ⅴ脳神経）の機能です。
4. × 表情筋の運動は顔面神経（第Ⅶ脳神経）に支配されています。

[問題12] 正解：1

1. ○ ガストリンは胃のG細胞から分泌されるホルモンで、胃酸の分泌を促進します。
2. × セクレチンは十二指腸のS細胞から分泌されるホルモンで、胃液分泌を抑制します。
3. × 胃抑制ペプチドは十二指腸のK細胞から分泌されるホルモンで、胃液分泌を抑制します。
4. × コレシストキニンは十二指腸のI細胞から分泌されるホルモンで、胃液分泌を抑制します。

[問題 13] 正解：4

1. × アルドステロンは副腎皮質ホルモンの電解質コルチコイドです。腎臓の遠位尿細管や集合管に作用してナトリウムの再吸収とカリウムの排泄を促進し、血圧上昇に関与します。
2. × テストステロンは精巣から分泌される男性ホルモンで、男性の第二性徴の発現などに関与します。
3. × 甲状腺ホルモンは甲状腺から分泌されるホルモンで、主に基礎代謝の亢進に関与します。
4. ○ 副腎皮質刺激ホルモンは下垂体前葉から分泌されるホルモンです。副腎皮質を刺激して副腎皮質ホルモンを分泌させます。副腎皮質ホルモンの糖質コルチコイドには血糖値を上昇させる作用があることから、糖質コルチコイドを分泌させるために、低血糖によって副腎皮質刺激ホルモンの分泌が促進されます。

[問題 14] 正解：2

アンモニアは肝性脳症の直接的な原因となります。肝臓は体内のアンモニアを無毒化して尿素に変えています。肝機能が低下するとアンモニアの無毒化ができず、高アンモニア血症を引き起こし、脳症を発症することがあります。

[問題 15] 正解：4

黄疸では血液中のビリルビンの増加に伴って皮膚が黄染します。中でも眼球結膜はもともと白いため、黄色に変化すると気づきやすいことから、黄疸で黄染を確認しやすい部位となります。

[問題 16] 正解：4

乏尿とは1日の尿量が400mL以下に減少した状態のことです。

[問題 17] 正解：4

1. × CRP（C反応性蛋白）は、炎症や感染症を示す免疫血清学検査の項目です。
2. × 尿素窒素（BUN）は、腎臓の障害を示す血液生化学検査の項目です。
3. × アミラーゼ（AMY）は膵臓から分泌される消化酵素で、膵炎をはじめとする膵臓の障害によって血中に増加します。
4. ○ ALT（アラニンアミノトランスフェラーゼ：GPT）は、肝障害の血液性化学検査の項目のひとつです。肝臓が障害されると高値となります。

[問題 18] 正解：3

1. × 麻薬の作用は鎮痛、鎮静などです。副作用（有害事象）には、眠気、呼吸抑制、便秘などがあります。
2. × 利尿薬の作用は浮腫の軽減、血圧の低下などです。代表的な副作用（有害事象）には、低カリウム血症（一部）があります。
3. ○ 抗癌薬の作用は細胞の分裂を抑えることによって、がんの増殖を抑制することです。そのため、抗癌薬は細胞分裂の激しい箇所（骨髄、消化管粘膜、毛根など）の分裂も抑制してしまいます。骨髄は主に造血を行っている部分であるため、抗癌薬によって骨髄抑制が起こると赤血球、白血球、血小板がそれぞれ減少し、貧血、易感染、出血傾向などの副作用（有害事象）が出現します。
4. × 強心薬は心不全の治療、頻脈の抑制などに使用されます。副作用（有害事象）には、嘔吐、めまい、不整脈などがあります。

[問題 19] 正解：4

1. × 溢流性尿失禁は、膀胱に溜まった尿が括約筋の限界をこえて溢れ出てしまう状態をいい、前立腺肥大症などでみられます。
2. × 機能性尿失禁は、排尿の機能自体に問題はなく、体動が不自由なためにトイレに辿り着く前に尿を漏らしてしまう状態をいいます。認知症や運動障害などでみられます。
3. × 切迫性尿失禁は急な尿意の感知と同時に排尿してしまう状態をいいます。子宮脱や前立腺肥大症などによる非神経因性のものや、脳血管障害などの神経因性のものがあります。
4. ○ 腹圧性尿失禁は、中年以降の女性に多く、咳やくしゃみなどで急に腹圧が加わったときに尿が漏れるものをいいます。尿道括約筋や骨盤底筋群の筋力の低下が原因で起こるため、骨盤底筋訓練が有効です。

[問題 20] 正解：2

ボディメカニクスでは介助者は腰を落として両膝を曲げ、重心を低くします。さらに、足を左右前後に開いて基底面を広くし、重心が支持基底面の中央に近づくようにします。また、広背筋や大殿筋などの大きな筋群を使うようにします。

[問題 21] 正解：2

1. × 昼間の病室は 100～200 ルクスの照度が目安となります。
2. ○ 手術室は 750～1,500 ルクス程度の照度、手術野は 1～10 万ルクスの照度が目安となります。
3. × トイレは 200 ルクスの照度が目安となります。
4. × 昼間の病棟の廊下は 150～300 ルクス程度の照度が目安となります。

[問題 22] 正解：2

空気感染（飛沫核感染）は飛沫核として空気中を漂うウイルスや細菌を吸引することにより感染する感染経路です。空気感染の予防策は、麻疹や水痘、結核のように空気感染する感染症に対して行われます。したがって、感染源となる飛沫核が拡散しないようにすることや、それを吸引しないようにすることが必要となります。飛沫核が拡散しないようにするための対策として感染者を陰圧個室に収容します。また、処置やケアのために患者に接触するときには、看護師は飛沫核を吸引しないようにするため、N95 マスクを着用します。

[問題 23] 正解：2

点滴静脈内注射中の刺入部位の腫脹は、薬物の血管外漏出が考えられます。薬物によっては漏出した周辺組織に炎症が起こり、皮膚障害を引き起こす危険性が高いものもあります。腫脹を認めた場合には、直ちに注入を中止し、医師に状態を報告します。

1. × 体位を変えることでは、点滴刺入部位の腫脹は改善しません。
2. ○ 薬物の血管外漏出が考えられるため、直ちに注入を中止します。
3. × 刺入部位の挙上は、抜針後の腫脹やそれに伴う疼痛を軽減させる目的で行うことがあります。点滴静脈内注射中の刺入部位に腫脹を発見したときに行う対応ではありません。
4. × 薬物の血管外漏出が考えられることから炎症を起こしている可能性が高いと思われます。炎症を助長させる危険性があるため、腫脹周囲のマッサージを行ってはいけません。

[問題 24] 正解：4

体位ドレナージは重力を利用して行うため、排痰したい部位が高くなるようにします。図は右を下にして頭部を下げているため、右下葉が最も高い位置となっていることから、右下葉の体位ドレナージを目的としています。

[問題 25] 正解：3

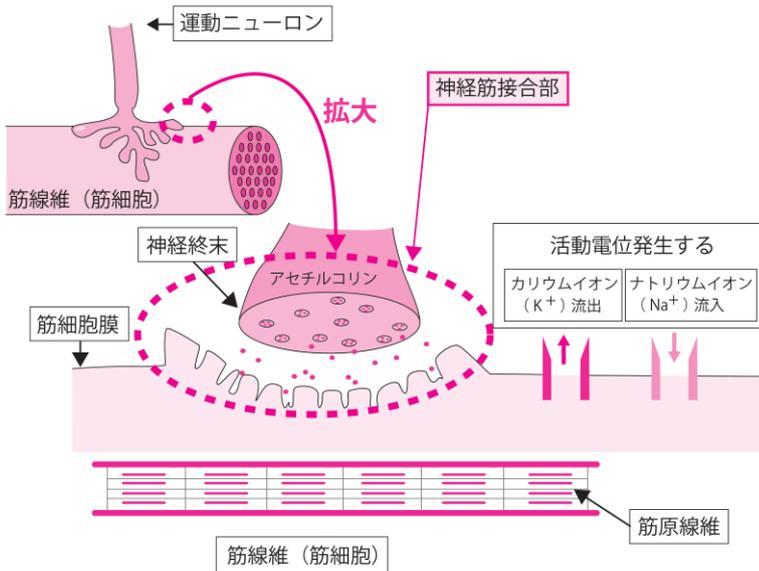
成人に対する胸骨圧迫と人工呼吸の回数比は 30：2 です。なお、小児に対する胸骨圧迫と人工呼吸の回数比は、1 人で行う場合は 30：2 で、2 人で行う場合は 15：2 です。

[問題 26] 正解：4

運動神経終末と筋肉組織の接点を、神経筋接合部といいます。運動神経終末から放出されるアセチルコリンという伝達物質が筋肉組織の受容体に受け取られると、筋細胞内のカリウムイオンが流出し、代わりにナトリウムイオンが流入することで活動電位が発生します。

1. × 塩化物イオン (Cl^-) は、間質液、血漿などの細胞外液の中でナトリウムイオンの次に多いものです。塩化物イオンは胃酸のもとになり、胃で食べ物の消化や殺菌に関与しています。

2. × 神経筋接合部にあるイオンチャネル型受容体にアセチルコリンが結合すると、カリウムイオンは筋細胞外に流出します。
3. × カルシウムイオンは筋細胞の中にある筋小胞体に貯蔵されているもので、神経筋接合部にあるイオンチャネル型受容体にアセチルコリンが結合する段階で筋細胞内に流入するものではなく、活動電位が発生するとその刺激で筋細胞内に放出されるものです。
4. ○ 神経筋接合部にあるイオンチャネル型受容体にアセチルコリンが結合すると、ナトリウムイオンが筋細胞内に流入し、カリウムイオンは流出します。その結果、活動電位が発生して筋小胞体にあるカルシウムイオンが筋細胞内に放出され、筋収縮が起こります。



[問題 27] 正解：3

1. × リンパ管は静脈に似た構造をもち、逆流防止の弁があります。
2. × 胸管は左静脈角から左鎖骨下静脈に注ぎます。
3. ○ 脂肪は毛細リンパ管に吸収され静脈に輸送します。
4. × リンパの流れは、ほぼ静脈と同方向です。

[問題 28] 正解：4

1. × 嚥下運動のうち、第1相（口腔期）は随意運動ですが、その後は不随意運動です。
2. × 食塊は口腔→咽頭→食道と移行します。喉頭は気道の一部で、気管へとつながっています。
3. × 気管と食道との交通を遮断するのは喉頭蓋です。
4. ○ 食道は蠕動運動によって食塊を胃に移送します。

[問題 29] 正解：3

1. × 血圧上昇を抑制するために心拍出量を減少させようとするので、負のフィードバックです。
2. × 体温上昇を抑制するために発汗による放熱が起こるので、負のフィードバックです。
3. ○ 子宮収縮により分娩が進行し、分娩の進行がさらに子宮収縮を促進するので正のフィードバックが働いています。
4. × 多飲による循環量の増加や浸透圧の変動を抑制するために尿量を増やすので、負のフィードバックです。

[問題 30] 正解：4

1. × 基礎体温の上昇はプロゲステロンの作用によって起こります。プロゲステロンは子宮内膜を分泌期とするため、分泌期に基礎体温が上昇します。
2. × プロラクチンは下垂体前葉から分泌されるホルモンで、主な作用は乳汁分泌です。排卵作用ではありません。
3. × 子宮内膜の増殖を促進するのはエストロゲンです。プロゲステロンではありません。
4. ○ 排卵直前には黄体形成ホルモン（LH）値が高くなります。これを LH サージといいます。

[問題 31] 正解：1

1. ○ 再生不良性貧血は骨髄での造血機能低下によるもので、汎血球減少を起こし、貧血、出血傾向、易感染となります。
2. × 溶血性貧血では間接ビリルビンが増加します。
3. × 血清フェリチンは蛋白質に鉄が結合した複合蛋白で、鉄貯蔵の役割をします。鉄欠乏性貧血では鉄が少ないため、血清フェリチンは減少します。
4. × 悪性貧血の原因としてはビタミン B₁₂ の吸収障害があります。赤血球以外の白血球、血小板も減少（汎血球減少）することがあります。

[問題 32] 正解：1

生活保護法で定める扶助の種類は、医療扶助、介護扶助、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助の8つです。

1. ○ 医療扶助とは、生活保護者に対する診察、薬剤または治療材料、医学的処置などの医療にかかる費用を現物給付という形で無料で提供するというものです。
2. × 教育扶助とは、義務教育に伴って必要な費用の基準額を支給するというものです。義務教育でない高等学校以上の教育にかかる費用は教育扶助の対象とはなりません。なお、生活保護世帯の自立支援という点から高等学校の教育にかかる費用は生業扶助から支給されます。

3. × 住宅扶助とは、賃貸住宅の家賃、自己所有の住居に対する土地代、補修・維持に必要なものに対して、基準額の範囲内で現金給付がなされることで、住宅の購入にかかる費用は対象外です。
4. × 出産扶助とは、分娩の介助、分娩前後の処置など出産にかかる費用を支給するもので、原則現金給付です。なお、新生児の育児用品にかかる費用は生活扶助から支給されます。

[問題 33] 正解：3

1. × 口腔内の衛生管理は肺炎にならないための行動で、一次予防に該当します。
2. × 肺炎球菌ワクチンの接種は肺炎にならないための行動で、一次予防に該当します。
3. ○ 呼吸リハビリテーションは肺炎を起こした後の再発予防行動で、三次予防に該当します。
4. × 健康診断での胸部エックス線撮影は肺炎を早期発見し、早期治療につなげるための行動で、二次予防に該当します。

[問題 34] 正解：1

1. ○ ダイバーシティは多様性を意味し、性別・国籍・人種・年齢など様々な違いを問わず多様な個別性を理解し認めることを示しています。つまり、患者の個別性を理解するために必要な概念です。
2. × パターナリズムは父権主義ともいい、父親が子どもを守ろうとして強制的に行為を押し付けるような状態のことをいいます。つまり、医師が患者のためを思った行為を患者の同意なく行い、患者は子どもが父親に従うように医師に従うべきだとする考え方で、患者中心ではなく医療者中心となるリスクがあり、患者の個別性を理解するために必要な概念とは異なります。
3. × プライマリヘルスケアとは昭和 53 年（1978 年）のアルマアタ宣言で提唱された「すべての人に健康を」を目標とした世界的な健康戦略の基本理念です。患者の個別性を理解するために必要な概念とは異なります。
4. × ソーシャルインクルージョンとは、すべての人々を孤立・排除から守り、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み込んで支えるという理念です。患者の個別性を理解するために必要な概念とは異なります。

[問題 35] 正解：2

患者の情報は主観的情報（S データ）と客観的情報（O データ）に分けられます。主観的情報とは患者自身の直接的な言語的要素によるもので、客観的情報とは観察などによって得られた測定値や確認できた患者の言動・表情・意思の診察結果や検査結果などの情報をいいます。

1. × 背中がかゆいという情報は患者が話している内容であり、主観的情報の記録です。
2. ○ 背部に発汗があるという情報は看護師が観察して確認できた情報であり、客観的情報の記録です。

3. × 坐薬の効果があったという情報は発熱に対して坐薬の使用を実施したことへの評価です。
4. × 全身清拭を実施するという情報は「背中がかゆい」という看護問題に対してのケアの計画立案です。

[問題 36] 正解：2

1. × 手術用持針器は清潔野で使用される物品であり、滅菌されている必要があります。第4級アンモニウム塩は低水準消毒薬であり、滅菌ではなく消毒に用いられる薬剤です。
2. ○ 熱水消毒は細菌芽胞を除くすべての微生物に有効であり、ステンレス製便器の消毒方法として適切です。
3. × 軟性内視鏡に対して高圧蒸気滅菌は行えません。
4. × グルタールはアルデヒド類の高水準消毒薬であり、人体に対しても毒性が強く、揮発した蒸気が眼や呼吸器などの粘膜を刺激する危険があるため、ベッド柵の消毒に用いる薬品としては適切ではありません。

[問題 37] 正解：2

1. × Sims（シムス）位の場合は胸腹部などに枕を挿入します。
2. ○ 側臥位では胸腹部に枕を挿入し、上側の upper arm で軽くかかえるようにします。
3. × 半座位では膝窩部や頭部から肩の下、両上肢の下、足底などに枕を挿入します。
4. × 腹臥位では顔の下や胸腹部、下腿の下などに枕を挿入します。

[問題 38] 正解：3

1. × 鼻カニューレは24～44%の酸素濃度を供給することができ、酸素流量は1～6L/分まで対応が可能です。簡便な酸素吸入器具であり、酸素投与をしながら会話や食事が可能です。しかし、鼻から酸素吸入をするため、口呼吸や鼻閉塞の患者には不向きです。
2. × フェイスマスクは40～60%の酸素濃度を供給することができ、酸素流量は5～8L/分まで対応可能です。マスク内の呼気を再吸入しないために、通常酸素流量は5L/分以上とします。また、酸素流量5～6L/分では酸素濃度40%、酸素流量6～7L/分では酸素濃度50%、酸素流量7～8L/分では酸素濃度60%と酸素濃度が決まっています。そのため、細やかな酸素濃度の調節はできません。
3. ○ ベンチュリーマスクは患者の1回換気量に左右されず、24～50%の酸素濃度を安定して供給できるものです。それぞれ酸素濃度ごとのダイリューターによって酸素濃度を調節することが可能です。
4. × リザーバー付酸素マスクは、リザーバーにたまった酸素濃度90%以上の高濃度の酸素吸入が可能です。酸素流量は6～10L/分まで対応が可能です。

[問題 39] 正解：4

1. × マクロファージが創内を清浄化するのは炎症期です。
2. × 基底細胞が活性化して創面を覆うのは増殖期です。
3. × 肉芽組織を形成するのは増殖期です。
4. ○ 瘢痕を形成するのは成熟期です。

[問題 40] 正解：2

1. × 血小板成分製剤は 20～24℃で振とうして保存します。
2. ○ 赤血球成分製剤は 2～6℃で保存します。
3. × 血漿成分製剤は -20℃以下で保存します。
4. × 全血製剤は 2～6℃で保存します。

[問題 41] 正解：1

1. ○ 出血部位は心臓より高く保ちます。
2. × 止血帯は滅菌ガーゼ、なければ清潔なタオルや布類などで幅が広いものを用います。幅の狭いものは、過剰な圧力がかかり圧迫部位の動脈や神経の損傷を起こすリスクがあるため避けま
す。
3. × 止血時間が長時間にわたる場合は、循環障害による合併症を防ぐため、目安として 30 分に 1
回程度は、1～2 分止血を緩めます。4 時間も連続して止血することはありません。
4. × 出血部位は動脈圧より高い圧で圧迫します。

[問題 42] 正解：2

検査には、大別して検体検査と生体検査があります。検体検査は人体から採取されたものの検査で、
生体検査は人体そのものの機能を検査するものです。

1. × 喀痰検査は検体検査です。
2. ○ 脳波検査は生体検査です。
3. × 便潜血検査は検体検査です。
4. × 血液培養検査は検体検査です。

[問題 43] 正解：2

1. × 加齢による聴力低下は内耳の障害によるもので、高音域から現れやすいです。
2. ○ 基礎代謝量は男性 15～17 歳、女性は 12～14 歳の青年期が最も高いです。
3. × 眼の調節力の低下は水晶体の弾力性低下が原因です。

4. × 女性の更年期障害は、卵巣の機能低下によるエストロゲンの分泌低下が原因です。ホルモンのバランスが崩れることで自律神経失調症状が出現します。

[問題 44] 正解：2

1. × 低血圧症の原因として心疾患や降圧薬の副作用などがあります。また、原因が明らかでない本態性と呼ばれる低血圧症も存在します。
2. ○ 心筋梗塞の原因は、高血圧・脂質異常症・生活習慣・喫煙・長時間労働などによるストレスがあります。
3. × 悪性中皮腫の原因のほとんどはアスベスト（石綿）です。
4. × 1型糖尿病は、免疫の異常などによって膵臓のランゲルハンス島のβ細胞が破壊され、インスリンの分泌が障害されたものをいいます。

[問題 45] 正解：3

特定の業務に従事することによって発生する健康障害のことを職業性疾患といいます。

1. × VDT 作業とはディスプレイやキーボードを使用した作業のことです。VDT 作業による健康障害として VDT 症候群を起こすことがあります。VDT 症候群の症状に眼精疲労や長時間同一体位による肩こり、腰痛、精神神経疲労などがあげられます。
2. × 有機溶剤とは、塗料の製造、塗装、洗浄、印刷、物の接着などに使用されているものです。有機溶剤を使用することによる健康障害として有機溶剤中毒があります。有機溶剤中毒の症状には中枢神経抑制と臓器特異性健康障害があります。中枢神経作用とは主に麻酔作用のことをいい、臓器特異性健康障害には肝機能障害、末梢神経障害、貧血、視神経障害、網膜障害があげられます。
3. ○ 電離放射線は医療では放射線検査などの業務に用いられます。電離放射線による人体への影響として、造血機能障害、発がん、白内障、皮膚障害などがあげられます。
4. × 石綿（アスベスト）は建築材などに使用されているもので、吸い込むと肺の中に貯留し肺を線維化します。主な疾患として中皮腫、肺癌、石綿肺およびびまん性胸膜肥厚などによる呼吸機能障害があげられます。

[問題 46] 正解：1

疾病予防対策には一次予防、二次予防、三次予防があります。一次予防は、生活習慣の改善やそのための健康教育や予防接種など、健康増進を図って発病を予防することをいいます。また、二次予防とは、健康診断などで疾病を早期発見、早期治療することをいい、三次予防とは、疾病が進行した後の社会復帰のためのリハビリテーションなどを行うことをいいます。

1. ○ 入職時のストレスマネジメントに関する研修は一次予防です。
2. × 精神的不調を生じた看護師への公認心理師による相談は二次予防です。

- 3. × 精神的不調で休職している看護師への復職支援プランの作成は三次予防です。
- 4. × 精神的負荷がかかっている可能性のある看護師への産業保健師による面談は二次予防です。

[問題 47] 正解：3

急性期（特に外傷や手術後、感染症などのストレス状態）では、身体がストレスに対処しようとする反応が起き、交感神経系と内分泌系が活性化し、代謝や循環に影響を与えます。

- 1. × 急性期ではエネルギー代謝は亢進します。ストレス反応により交感神経系が活性化し、糖新生が促進し脂肪分解は亢進します。これによりエネルギー消費が増加します。
- 2. × 急性期では蛋白質の異化（分解）が同化（合成）を上回ります。カテコールアミンやコルチゾールの作用により骨格筋の蛋白質が分解され、アミノ酸が糖新生に利用されます。
- 3. ○ 急性期にはカテコールアミンの分泌が亢進することで脈拍数の増加や筋・心臓・脳への血流増加、血糖値の上昇などがみられます。
- 4. × 急性期ではストレスや出血、低血圧などにより視床下部が刺激され、抗利尿ホルモン（ADH）の分泌が亢進します。これにより腎臓での水の再吸収が促進されて尿量が減少し、循環血液量を維持しようとします。

[問題 48] 正解：3

倒れている患者が呼びかけに反応しない場合は、すぐに応援を呼び、安全な場所に移動してから生命徴候を確認します。

- 1. × 脈拍を確認するのは、応援を呼び人が集まるまでの間にかまいません。
- 2. × 心拍が停止している場合は、ベッドに移動後、背板を入れた後に胸骨圧迫を開始します。
- 3. ○ ナースコールで応援を呼ぶことが最優先です。
- 4. × 自動体外式除細動器（AED）は心拍が停止している場合、胸骨圧迫を行っているときに手のあいている者が取りに行きます。

[問題 49] 正解：3

- 1. × 元の職場の仕事内容を看護師が変更することはできません。
- 2. × 職場復帰が可能かどうかは、仕事内容を確認してみないと分かりません。
- 3. ○ 職場に戻るにあたって具体的な課題を挙げるのは適切です。
- 4. × 元の職場に戻りたいというAさんの希望に沿っていません。

[問題 50] 正解：4

- 1. × 身体的苦痛です。
- 2. × 心理的苦痛です。

- 3. × 社会的苦痛です。
- 4. ○ 人生の意味への問いはスピリチュアルペインです。

[問題 51] 正解：1

- 1. ○ 気管支鏡検査においては生検を行う場合があります。そのため抗凝固薬内服の有無の確認や血液凝固能検査は必須です。
- 2. × 検査前日の夕食までは摂取可能であり、21 時以降は絶食とします。水分は検査の 2～3 時間前から禁止とします。
- 3. × 検査中の咳嗽は我慢するよう説明します。
- 4. × 特に末梢組織を生検した場合、臓側胸膜を損傷して気胸を起こすことがあるため、呼吸困難や頻脈など気胸の症状に注意します。肺気腫とは関連しません。

[問題 52] 正解：3

- 1. ○ ドレーン挿入部は清潔操作で行います。
- 2. ○ 胆汁は、肝機能が正常であれば常に作られ続けるので、排液（ドレナージされた胆汁）が減少することは考えにくいです。減少するときはドレナージ不良が考えられます。ドレナージ不良は、チューブの脱落や閉塞によります。
- 3. × 胆汁に含まれるビリルビンは直接型です。
- 4. ○ 胆管炎を併発すると発熱が持続します。

[問題 53] 正解：4

- 1. × 自己血糖測定とは、簡易血糖測定器を用いて自分で血糖値（血液中のグルコース濃度）を測定することです。間質液中のグルコースを測定する方法としては持続血糖測定がありますが、これは自己血糖測定とは異なります。
- 2. × 自己血糖測定では一般的に、指先の毛細血管から検体である血液を採取します。
- 3. × 自己血糖測定では採取部位の消毒は必要です。消毒をしないと皮膚の細菌が血液に混入し、感染のリスクが高まる可能性があります。
- 4. ○ 自己血糖測定では、現在の血糖値を測定することができるため低血糖の状態を把握することが可能です。特に低血糖症状（冷や汗、動悸、震え、眠気、空腹感など）がある場合に、自己血糖測定を行うことで迅速に対処することができるため、重要な役割を果たします。

[問題 54] 正解：4

パッチテストはⅣ型（遅延型）アレルギーの検査です。アレルゲンを上腕または背部の健常な皮膚に貼付し、48 時間後の皮膚反応を判定して評価します。

1. ×
2. ×
3. ×
4. ○

[問題 55] 正解：3

1. × 脳血管造影では大腿動脈や肘動脈などから経皮的にカテーテルを穿刺するため、頭部の剃毛を行う必要はありません。大腿動脈から穿刺する場合、検査前日に鼠径部の除毛を行うことがあります。
2. × 脳血管造影では検査中の患者の状態を観察するため、患者に話しかける必要があります。
3. ○ 脳血管造影ではカテーテルによる血栓形成や血流の障害が起こっていないかどうかを観察するために、穿刺部より末梢側の動脈の拍動や冷感、しびれなどの症状の確認をします。
4. × 脳血管造影では検査2時間前より禁飲食とします。

[問題 56] 正解：1

加齢に伴い呼吸筋力の低下、肺胞の弾力性の低下、肺胞数の減少などが起こることでガス交換量が低下します。努力性肺活量、1秒量、1秒率は減少し、残気量が増加します。換気が不十分になると気道分泌物が貯留するため、呼吸器合併症のリスクが高まります。

1. ○ 1秒率は息を吐きだす勢いをみるデータです。加齢に伴い1秒率が減少することにより、気道分泌物が貯留しやすくなり呼吸器合併症のリスクが高まります。
2. × 残気量は増加します。
3. × 嚥下反射が低下することで誤嚥性肺炎を起こしやすくなります。
4. × 気道の線毛運動が低下することで異物や細菌などを体外へ押し出す力が弱まり、呼吸器合併症を起こしやすくなります。

[問題 57] 正解：1

虐待を受けたと思われる高齢者を発見した者は、速やかに市町村に通報しなければならない、という義務が生じます。市町村は通報を受け、相談・指導・助言とともに、老人介護福祉センター、地域包括支援センター他関係機関や民間団体との連携を通して、迅速に対応することが明記されています。

1. ○
2. ×
3. ×
4. ×

[問題 58] 正解：4

1. × 任意後見人は、本人が判断能力のある時点で選びます。法定後見人は、本人が判断できなくなってしまった場合に、申立人の申し立て内容を家庭裁判所が審査して決定します。
2. × 成年後見制度には、本人が判断できるうちに任意後見人の申し立てをするという制度もあり、認知症の診断と同時に適用されるものではありません。
3. × 日常生活自立支援事業と成年後見人制度は類似している項目があり混同してしまうことがあります。日常生活自立支援事業は社会福祉法に基づくもので、利用者との契約に基づく福祉サービスであり、民法に基づく成年後見制度とは別の制度です。
4. ○ 成年後見制度で決定された成年後見人は、財産管理などの手続きを本人の代理で行うことができます。

[問題 59] 正解：4

経口薬は、口から飲み込んだ薬物がおもに小腸から吸収されます。吸収された薬物は肝臓でその一部が酵素により代謝されて活性を失い（初回通過効果）、残ったものが全身の血液循環により運ばれて標的となる組織に効果を発揮します。

1. × 加齢により骨密度は低下し、血中カルシウム濃度の低下を起こしますが、血中カルシウムは薬物が血液循環で運ばれる機能に影響はしないため、薬効に直接的に影響することは考えにくいです。
2. × 加齢により胃酸の分泌が減少することや、消化管運動の低下により鉄やビタミン剤などの吸収は減少しますが、全体としては薬効に大きく影響はしないとされています。
3. × 加齢により胃酸の分泌が減少することや、消化管運動の低下により鉄やビタミン剤などの吸収は減少しますが、全体としては薬効に大きく影響はしないとされています。
4. ○ 血液中に吸収された薬剤は、血清アルブミンと結合するもの（結合型）と、結合しないもの（遊離型）に分けられ、結合型は薬効を発揮しません。アルブミンは肝臓で合成されますが、加齢に伴い肝機能が低下することで血清アルブミンが減少し、遊離型の薬剤が増えます。このことは高齢者が経口薬を内服した際に薬効が強く現れる理由のひとつとなっています。

[問題 60] 正解：3

1. × 介護老人保健施設には常勤医師の配置が義務付けられています。
2. × 介護老人保健施設は介護保険制度に基づき設置されます。
3. ○ 介護老人保健施設は介護保険法で、要介護者であって、主としてその心身の機能の維持回復を図り、居宅における生活を営むことができるようにするための支援が必要である者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的とする施設とされており、要介護者に対して自宅での生活に向けた支援を行う施設です。
4. × 介護老人保健施設の従事者の配置基準は看護職員と介護職員が2：5の割合です。

[問題 61] 正解：2

1. × 昭和 26 年（1951 年）5 月 5 日制定。児童の権利を守るための憲章を作ろうと児童憲章が制定されました。5 月 5 日はこどもの日であり、児童憲章制定日でもあります。
2. ○ 昭和 22 年（1947 年）に公布され、昭和 23 年（1948 年）に施行されました。「児童とは、満十八歳に満たない者」と定義しています。
3. × 昭和 40 年（1965 年）に公布され、昭和 41 年（1966 年）に施行されました。
4. × 児童の権利に関する条約は子どもの権利条約ともいい、平成元年（1989 年）に国連総会で採択され、平成 6 年（1994 年）に日本でも批准されました。これによって日本でも子どもの人権擁護に関する内容が周知されるようになりました。

[問題 62] 正解：3

1. × IgA は分子量が大きく胎盤を通過できません。
2. × IgD は分子量が大きく胎盤を通過できません。なお、IgD の機能はよく分かっていません。
3. ○ IgG は分子量が小さく胎盤を通過できます。したがって、IgG 抗体は新生児や乳児が胎児期に母体から受け取ることができます。
4. × IgM は分子量が大きく胎盤を通過できません。

[問題 63] 正解：1

1. ○ Bowlby（ボウルビィ）は、アタッチメント理論の記述の中で、愛着の発達における愛着行動の変化を 4 段階に分けて説明しています。その 3 段階目で見知った人と見知らぬ人を明確に識別し、特定の人への愛着が形成される一方で、見知らぬ人に対しては人見知りが始まるとしています。人見知りは生後 6、7 か月ころより始まり、3 歳ころまで続きます。
2. × 安全基地とは場所を示しているのではなく、子どもの不安を受け止める・安心できる心のよりどころとなる養育者などの信頼できる大人のことです。不安や恐怖を感じたときなどに、養育者などの信頼できる大人に受け止めてもらえることで、子どもは安心感を得ることができます。なお、安全基地の概念を提唱したのは発達心理学者のエインズワースです。
3. × アタッチメントとは子どもと不特定の他者ではなく、特定の人物（主に母親となることが多い）との間に築かれる情緒的な結びつきのことです。
4. × Bowlby（ボウルビィ）は母子分離をした際の子どもの行動を 3 段階に分けています。愛着対象との分離で生じる子どもの行動の第一段階は「反抗の段階」です。反抗の段階では母親を失ったことに対して大声で泣き、転げまわり、悲しみをみせます。第二段階は「絶望の段階」といい、悲しみの段階が減るわけではなく、静かに、断続的に泣きます。第三段階は「脱愛着の段階」で、周囲の環境を受け入れるようになります。

[問題 64] 正解：4

プレパレーション（プリパレーション）とは、心理的準備ができるように援助することです。手術や処置がイメージできるように、絵本・玩具・実物などを見せて擬似体験させます。その時に感情が表出できるようにし、情緒的支援を行います。

1. ×
2. ×
3. ×
4. ○

[問題 65] 正解：4

1. × 生殖性の性は、子孫を残すための性、つまり種の保存のための性です。
2. × 性別としての性は、有する生殖機能による性別であり、常染色体ではなく、性染色体で決定されます。
3. × 連帯性としての性は、愛情・信頼関係構築のための性のことです。
4. ○ 性役割としての性は、「男だから」「女だから」という社会的規範で作られた性をいい、ジェンダー（社会文化的な性）といわれます。

[問題 66] 正解：1

1. ○ 親性とは、子を大切に思い、育もうとする性質のことです。育児性や養育性という表現が用いられることもあります。
2. × 誰でも子を持つ時点で親性を備えているものではありません。親性は育児をしていく中で徐々に備わっていくものです。
3. × 親性は従来の母性、父性のような性別に基づく役割分業で育児を行うことではありません。ジェンダーフリーの概念としての親性という用語が使われています。
4. × 生物学的に結びつきがあることが親性をもつ条件とはなっていません。

[問題 67] 正解：1

1. ○ 胎児心拍数基線の正常域は110～160bpmです。
2. × 胎児心拍数基線細変動の消失は、胎児の健康状態の低下を示す異常所見です。
3. × 一過性頻脈は、胎動時や陣痛発作時に胎児の心拍数が増加するもので、胎児の健康状態が低下すると認めません。よって、一過性頻脈を認めないのは異常所見です。
4. × 問題文では子宮収縮の情報がありません。子宮収縮は胎児のストレスとなりますが、ストレスのない状態での一過性徐脈は胎児の健康状態が良好とはいえず、正常な所見とはいえません。

[問題 68] 正解：3

1. × 膀胱に尿が溜まっていると子宮が圧迫され、子宮底が高く観察されるため子宮復古状態を正しく評価できません。よって、子宮復古状態の観察は排尿後に行います。
2. × ファウラー位をとると、腹部が屈曲されるため、子宮底高が正しく評価されません。
3. ○ 腹部が弛緩し、かつ腹部が屈曲していない姿勢で観察するのが良いので、褥婦の膝を伸展させて子宮底の高さを測定します。
4. × 子宮底長は恥骨結合上縁から測定します。

[問題 69] 正解：3

多血状態であった胎児期の赤血球は生後に肝臓で代謝されます。しかし、新生児は肝機能が未熟であるためにビリルビンが排泄されるための十分な代謝が進まないことで、血中の間接ビリルビンが増加し黄疸が起こります。これを新生児生理的黄疸といいます。

1. × 生後2～3日目頃からみられます。生後24時間以内にみられる場合は異常です。
2. × 皮膚の黄染は顔や腹部でみられ、気が付くのは顔が多いです。
3. ○ 生後4、5日がピークとされています。
4. × ビリルビンは排泄されているので、便が灰白色になることはありません。

[問題 70] 正解：3

1. × 詳細に指摘しても自立にはつながらず、入浴拒否につながる可能性もあります。
2. × 洗い残しがあっても感染のリスクはさほど上がりません。
3. ○ 洗い残しの部分には洗い残しの理由がある可能性があります。まずはそれを聞きます。
4. × できるところは自分で、が看護の基本です。

[問題 71] 正解：2

知的障害とは、知的機能の障害が発達期（おおむね18歳まで）にあらわれ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別の援助を必要とする状態にあるものです。また、知的機能と適応機能の両方が障害されます。

1. × 統合失調症は内因性精神疾患です。その原因は諸説あり、まだ不明な点も多いですが、脳の神経伝達物質の1つであるドパミンの代謝異常が原因という説が有力です。
2. ○ フェニルケトン尿症は、先天性代謝異常症の1つで、フェニルアラニン水酸化酵素が先天的に欠乏しているため、フェニルアラニンが代謝できずに体内に蓄積することで起こります。症状としては、知的障害・赤毛・色白などが特徴です。
3. × アルツハイマー病は、脳が変性して認知機能障害がみられる疾患です。アミロイドβ蛋白などの異常な蛋白質の蓄積が原因の1つと考えられています。発達期に発症するものではなく、多

くは40歳以降に発症します（40歳以前に発症するものを、以前は若年性アルツハイマー病と呼んでいました）。

4. × クロイツフェルト・ヤコブ病は、異常プリオンの蓄積により脳組織の海綿（スポンジ）状変性を特徴とする疾患です。遺伝や感染によって発症し、症状としては行動異常・感覚障害・ミオクロームス・病的反射などがみられます。

[問題 72] 正解：1

1. ○ 社会生活技能訓練（SST）とは認知行動療法の1つで、ソーシャルスキルトレーニングともいわれます。ソーシャルスキルとは社会の中で暮らしていくためのスキルのことであり、SSTでは社会で人と関わるときのコミュニケーションの方法や日常生活を営む上での生活スキルを学習していきます。
2. × 社会生活技能訓練（SST）の目的は、社会生活の中での人との関わり方、よりよい人間関係を構築していくための対人関係スキルの習得・向上をさせることです。結果として生活リズムが改善していくことにはなりますが、それ自体が目的ではありません。
3. × 社会生活技能訓練（SST）は、基本として習得したいスキルをロールプレイとグループワークを行うことで学んでいきます。レクリエーション活動が中心ではありません。
4. × アウトリーチとは手を伸ばすという意味であり、援助者側が病院や施設から地域に出て、患者や当事者のところに向いていき活動をすることです。社会生活技能訓練（SST）は病院や精神科デイケアなどで行われることも多く、アウトリーチによる支援が原則ではありません。

[問題 73] 正解：3

1. × 相手のパーソナルスペースを尊重し、自分自身が安全を確保するためにも患者の正面に立つのを避け、およそ斜め45度に立ちます。
2. × 凝視すると、挑発的な態度・振舞いだと思われる可能性があります。ただし、完全に目をそらすのではなく、アイコンタクトは保つようにします。
3. ○ 身振り手振りが多過ぎると挑発的な態度・振舞いだと思われる可能性があるため、身体の動きは最小限にし、身振り手振りは少なくします。
4. × 身体的な接触を行うことで、興奮を助長する恐れがあります。

[問題 74] 正解：4

Aさんは、日常生活は自立しています。しかし、85歳と高齢であり加齢による視野狭窄や認知機能の低下はあると考えられます。このため、障害物が見えなくなり転倒事故を起こしやすくなります。Aさんは、夜間に廊下を歩いて1～2回トイレへ行くとの記載があるため、まずは廊下に足元照明を設置し、特に夜間の転倒予防に努めることが優先となります。

1. ×

- 2. ×
- 3. ×
- 4. ○

[問題 75] 正解：4

- 1. × 診療情報の開示を求めることができる者は原則として患者本人ですが、法定代理人・任意後見人・患者本人から代理権を与えられた親族など・成人で判断能力に疑義がある患者の世話をしている親族などは、患者に代わって開示を求めることができます。
- 2. × 患者が「知らないでいたい」と希望した場合には、これを尊重しなければなりません。
- 3. × 感染症法に基づいて、1類から4類までを診断した医師は全数ただちに届け出る義務があります。5類では侵襲性髄膜炎菌感染症や麻疹、風疹はただちに届け出る必要がありますが、その他は種類によって期限が違い、おおむね7日以内に届け出ることであります。ここで得た情報は、感染症の発生や流行を探知し、まん延を防ぐための対策や医療従事者・国民への情報提供に役立てられます。患者の同意を得る必要はありません。
- 4. ○ 患者は希望すれば診療情報の提供を求めることができ、求めを受けた医療従事者は診療情報を提供する必要があります。この情報も参考にしてセカンドオピニオンが行われます。

[問題 76] 正解：1

- 1. ○ 労働安全衛生法に「心理的な負担の程度を把握するための検査等」に関する規程があり、労働安全衛生規則に「心理的な負担の程度を把握するための検査の実施方法」として「事業者は、常時使用する労働者に対し、一年以内ごとに一回、定期的に、次に掲げる事項について法第六十六条の十第一項に規定する心理的な負担の程度を把握するための検査（以下この節において「検査」という。）を行わなければならない」としています。なお、この検査は労働安全衛生法で、常時従業員が50名以上の職場において義務化されており、問題文の「職員数が300人の病院の看護師の働き方に関するマネジメント」として必要なものです。
- 2. × 労働基準法に「八時間を超える場合においては少なくとも一時間の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない」とあります。
- 3. × 労働基準法に「使用者は、生理日の就業が著しく困難な女性が休暇を請求したときは、その者を生理日に就業させてはならない」とあります。
- 4. × 労働基準法に「使用者は、妊産婦が請求した場合においては、（中略）時間外労働をさせてはならず、又は休日に労働させてはならない」とあります。

[問題 77] 正解：2

- 1. × 生活が不活発で、動かない状態が続くことで心身の機能が低下して動けなくなっていくことを生活不活発病といいます。発災直後には発生しにくいです。

2. ○ 窮屈な姿勢や運動不足が主な原因となり発症するのが静脈血栓塞栓症です。発災直後、自家用車に泊まり生活を始めた避難者に発生しやすいです。やむを得ず車中泊をする場合でも、脚を伸ばして休むことや、定期的に散歩や運動などで脚を動かすこと、水分摂取をこまめに行うことで発生を予防します。
3. × 圧挫症候群（クラッシュ症候群）は、倒壊した家屋などの重量物に身体が圧迫され、横紋筋が融解することで起こるものです。
4. × 心的外傷後ストレス障害（PTSD）は、災害や暴力などの精神的衝撃を受けるトラウマ体験の後にみられ、不快な記憶が突然蘇ってくるフラッシュバックなどのストレス症状が、1か月以上持続するものです。

[問題 78] 正解：4

1. × 即時型アレルギーであり、IgE が関与します。
2. × 細胞傷害型アレルギーであり、IgG、IgM、補体が関与します。
3. × 免疫複合体型アレルギーであり、免疫複合体や補体が関与します。
4. ○ 細胞性免疫の過剰反応による組織障害をⅣ型アレルギー反応といいます。薬品や金属などが皮膚に長時間接触することで生じる接触性皮膚炎が該当します。
5. × V型アレルギーは自己の細胞の受容体に対する抗体がつくられ、自己抗体が受容体に反応することで細胞の機能異常を示すものです。Ⅱ型アレルギーに属するとされることもあります。

[問題 79] 正解：2

1. × 網膜にある視細胞に杆体と錐体があります。杆体はロドプシンという感光色素があり、光の感度が高いです。ロドプシンは、オプシンというタンパク質とビタミンAであるレチナールの複合体であるため、ビタミンAが欠乏すると夜盲症となります。
2. ○ ビタミンB₁は炭水化物の補酵素として酵素の働きを促進します。高カロリー輸液によってビタミンB₁が大量に消費されると、ビタミンB₁が欠乏しやすいです。ビタミンB₁が欠乏すると、ミトコンドリアの代謝が止まり、乳酸が蓄積されるため代謝性アシドーシスを生じます。また、ビタミンB₁は神経や心臓などを正常に機能させる作用があるので、ビタミンB₁の欠乏によって知覚異常・血圧低下・心不全などを生じます。これを脚気といいます。さらに重症のビタミンB₁の欠乏は中枢神経の障害も招き、見当識障害、歩行障害、記憶力低下などを生じます。これをウェルニッケ・コルサコフ症候群といいます。
3. × ビタミンC欠乏症は、結合組織、骨、細胞間のセメント質形成に障害が起こります。その結果毛細血管が脆弱化し、出血しやすくなり壊血病となります。
4. × ビタミンDはカルシウムやリン酸塩の吸収に必要であるため、ビタミンD欠乏症の人ではこれらの血中濃度が低下します。そのため、骨を維持するのに必要なカルシウムとリンが不足します。子供の場合はくる病、大人の場合は骨軟化症になります。

5. × ビタミンEには過酸化を防止する作用があり、過酸化脂質が赤血球膜に増えるために溶血性貧血があらわれます。

[問題 80] 正解：1

関節リウマチは、関節内にある滑膜に炎症が生じることから、全身の関節に疼痛や腫脹などの症状が出現します。原因不明の膠原病のひとつです。

1. ○
2. ×
3. ×
4. ×
5. ×

[問題 81] 正解：3

1. × 圧迫すると血流が阻害され、創部の治癒も阻害されます。
2. × 痂皮は細菌の温床となり、創部の治癒を阻害します。
3. ○ 創部は湿潤環境により、上皮化が促され治癒が促進されます。
4. × 消毒は細菌のみでなく正常な細胞も障害するため、使用後は洗浄します。正常な細胞も障害されるため、治癒過程に支障をきたします。
5. × 浮腫は循環障害を意味します。創部の治癒は阻害されます。

[問題 82] 正解：4

1. × 眉弓部の膨隆は先端巨大症の症状です。
2. × 甲状腺機能亢進症（バセドウ病）では眼球突出の症状があらわれます。
3. × テタニー（四肢や顔面の硬直性けいれん）は副甲状腺機能低下症の症状で、低カルシウム血症に伴ってみられます。
4. ○ 甲状腺機能亢進症（バセドウ病）では代謝亢進から頻脈や動悸があらわれます。
5. × 甲状腺機能亢進症（バセドウ病）では腸蠕動亢進から下痢となります。

[問題 83] 正解：3・5

1. × 血糖値は出血傾向を示す直接的な指標ではありません。
2. × 血清鉄は血液中の鉄分の量のこと、これが赤血球中のヘモグロビンを作る材料として機能します。低下によって鉄欠乏性貧血や消化管出血の可能性を示します。血液凝固との関わりは無いので、直接出血傾向を把握することはできません。

3. ○ 血小板数 (Pt: 基準値 15 万~35 万/mm³) は、血液凝固における一次止血に直接関わるので、低下で血小板減少性紫斑病などの出血傾向を疑います。
4. × アルカリフォスファターゼ (ALP) は肝胆道系酵素で、高値で肝臓、胆道疾患などを疑います。特に肝臓の疾患では出血傾向となりやすいですが、出血傾向の直接的な指標ではありません。
5. ○ 活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT、基準値 25~45 秒) は、主に血液凝固の二次止血に関わる凝固因子 (トロンボプラスチン) の活性にかかる時間を調べることによって、二次止血の異常を調べます。延長で、血友病、肝臓の障害、DIC (播種性血管内凝固症候群) などによる出血傾向が疑われます。

[問題 84] 正解: 3・4

適正な薬物血中濃度の範囲が狭い薬物を投与する場合は、血中濃度を測定して患者ごとに投与量を管理します。これを薬物血中濃度モニタリング (TDM) といい、一般に炭酸リチウム、ジギタリス、テオフィリン、抗不整脈薬、アミノグリコシド系抗菌薬、免疫抑制薬などを投与する場合に実施されます。

1. × ヘパリンは広く用いられる抗凝固薬です。TDM の必要はありません。
2. × インスリンは血糖低下作用のある糖尿病治療薬です。TDM の必要はありません。
3. ○ ジギタリスは心不全の治療薬ですが、中毒のリスクがあるため TDM の対象薬物です。
4. ○ 炭酸リチウムは双極性障害の治療薬ですが、中毒のリスクがあるため TDM の対象薬物です。
5. × ニトログリセリンは血管拡張作用のある狭心症治療薬です。TDM の必要はありません。

[問題 85] 正解: 4・5

1. × 胃食道逆流症は壮年期以降に多いです。
2. × 脂肪は胃食道逆流症の発症要因のひとつであるため高脂肪食は制限します。他には、食べすぎ、アルコール、カフェイン、炭酸飲料、チョコレート、柑橘類、就寝前の食事なども発症要因となります。
3. × 食後は胃酸の逆流防止のため上半身を起こしておきます。
4. ○ 下部食道括約筋の弛緩が胃食道逆流症の大きな要因です。
5. ○ 胃食道逆流症の第一選択療法は胃酸分泌抑制薬による薬物療法です。H₂受容体拮抗薬やプロトンポンプ阻害薬が用いられ、自覚症状の緩和につながります。

[問題 86] 正解: 2・4

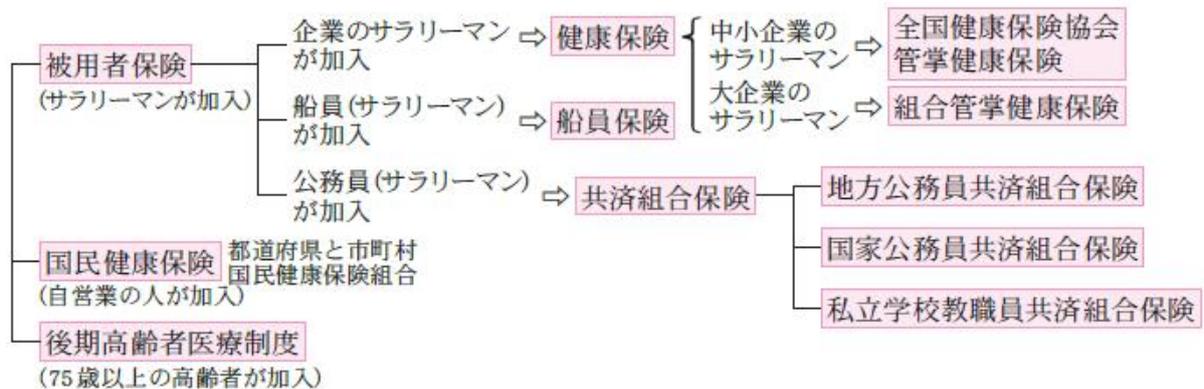
白血病などの造血器腫瘍での同種造血幹細胞移植では、腫瘍細胞の根絶と免疫抑制のために移植前に大量の抗癌薬や全身放射線照射 (TBI) などの前処置が行われます。

1. × 感染の予防が目的ではありません。なお、TBI によって白血球が極度に減少するため、感染が起こりやすい状態となります。

2. ○ 同種造血幹細胞移植の前に行われる TBI の目的のひとつは拒絶反応の防止です。TBI によって患者のリンパ球のはたらきが抑えられるため、拒絶反応が起こりにくくなります。
3. × 前処置に抗癌薬も併用して患者の腫瘍細胞の根絶をはかりますが、TBI によって抗癌薬の活性化は起こりません。
4. ○ 同種造血幹細胞移植の前に行われる TBI などによって、患者が持つもともとの腫瘍細胞の根絶をはかります。
5. × 移植片対宿主病 (GVHD) はドナーの骨髓液中に含まれるリンパ球が患者 (レシピエント) の組織を攻撃することによって起こります。予防としては移植後に免疫抑制剤を投与します。前処置の TBI の目的ではありません。

[問題 87] 正解：3・4

医療保険は医療が必要になったときに使う保険で、被用者保険・国民健康保険・後期高齢者医療制度があります。それぞれの特徴は以下の通りです。



1. × 年金保険とは、高齢で労働による所得を得られなくなった場合や、事故などにより障害が残り所得を得られなくなった場合、扶養する家族を残したまま亡くなるといった場合などに対応するための、保険の仕組みを使った保険料の拠出が前提の所得保障の保険です。国が加入を義務付けている公的年金以外に、個人や企業が任意で加入する個人年金があります。
2. × 雇用保険は、失業中の所得保障のための保険です。
3. ○ 船員保険は、医療保険の被用者保険です。
4. ○ 組管管掌健康保険は、医療保険の被用者保険です。
5. × 労働者災害補償保険は、労働者の業務中または通勤時の事故、業務上の災害などによる障害、けが・病気、死亡などの場合に、労働者とその家族を支援するための保険です。

[問題 88] 正解：1・5

感染症は感染力や重篤性に基づいて、1～5類感染症・新型インフルエンザ等感染症・指定感染症・新感染症に分類されます。

1. ○ 後天性免疫不全症候群（AIDS）は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染によって起こるもので、5類感染症です。HIVにより免疫の司令塔であるCD4陽性Tリンパ球が減少し、免疫力が低下します。HIVに感染して数年間は無症状の時期が続き、日和見感染を発症した時点でAIDSと診断されます。
2. × 腸管出血性大腸菌感染症は、大腸菌群の中でもベロ毒素を産生するものの感染によって起こるもので、3類感染症です。最も重篤な合併症として溶血性尿毒症症候群があり、腎不全が起こったり、死亡したりする例もあります。
3. × つつが虫病は、ダニの一種のツツガムシによって媒介される細菌感染症で、4類感染症です。発熱、刺し口、発疹は主要3徴候と呼ばれ、およそ90%以上の患者にみられます。また、倦怠感、頭痛、刺し口近傍のリンパ節や全身のリンパ節腫脹がみられます。治療が遅れると播種性血管内凝固を起こすことがあり、致死率が高いです。
4. × 日本脳炎は、主にコガタアカイエカ（蚊）が媒介する日本脳炎ウイルスによって起こるウイルス感染症であり、ヒトに重篤な急性脳炎を起こします。4類感染症です。
5. ○ 梅毒は梅毒トレポネーマによる細菌感染症で、5類感染症です。梅毒に罹患している母体から胎盤を通じて胎児に伝播されると、生後まもなく水疱性発疹・斑状発疹・丘疹状の皮膚病変に加え、鼻閉、全身性リンパ節腫脹、肝脾腫、骨軟骨炎、などの症状が認められます。また、乳幼児期は症状を示さずに経過し、学童期以後に実質性角膜炎や内耳性難聴などがみられる場合もあります。

[問題 89] 正解：2・3

1. × Aちゃんはこれまで通っていた小学校に継続して通学することを希望しています。できる限り本人と家族の希望を優先するように支援します。
2. ○ Aちゃんの弟の様子についての情報は特にありませんが、Aちゃんが頸髄を損傷したことにより、両親はこれからAちゃんにかかりきりになることが予想されます。退行現象に注意して両親が弟に関わることは適切です。
3. ○ 家族の介護の負担が軽減できるように、また、本人や家族の希望をできる限り叶えるようにするために、Aちゃんが利用できる社会資源を紹介することは適切です。
4. × 「Aちゃんのケアは主に母親が行うように」などということは、看護師から母親に言うことではありません。在宅療養では、家族の負担が大きいです。家族の負担が軽減できるように、社会資源の紹介や使用についての検討を行う必要があります。
5. × 事故については家族の間で話題にしないよう指導することは適切ではありません。衝撃を乗り越えるために家族の間で事故についての話をする必要がある可能性もあります。

[問題 90] 正解：3・5

1. × 2か月分処方では量が多く管理が難しくなります。
2. × 診療科ごとに細分化すると混乱しやすくなります。

3. ○ 薬剤師が定期的に訪問することが望ましいです。
4. × ケアマネジャーが管理することは本人の管理能力が低下します。
5. ○ 1回量ごと包装することは、飲み間違いを防ぐ有効な手段です。

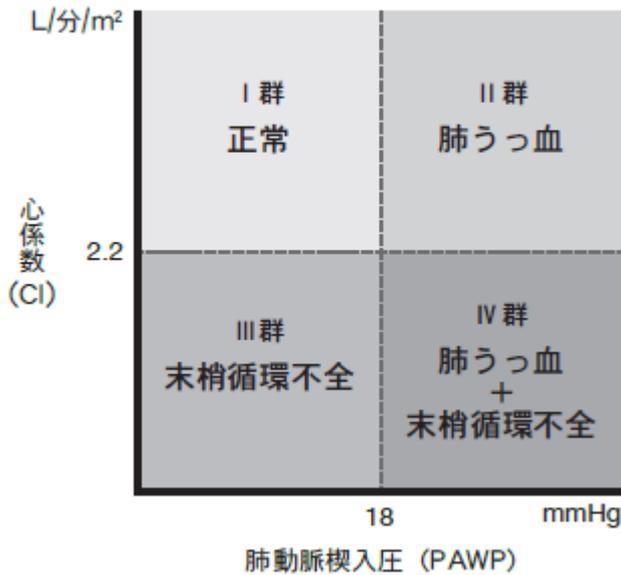
[問題 91] 正解：1

1. ○ トロポニンTは心筋の構造タンパクで、急性心筋梗塞などの心筋異常で特異的に上昇します。Aさんは急性心筋梗塞が疑われる状態なので優先度が高いです。
2. × 乳酸脱水素酵素（LD）は細胞の傷害時に血中に逸脱する酵素です。急性心筋梗塞でも上昇しますが、トロポニンTより優先度は低いです。
3. × 筋肉が運動するためのエネルギーであるクレアチンリン酸が代謝されてできる老廃物がクレアチニンで、腎臓で濾過されて排出されます。血清クレアチニンは腎機能の指標となります。
4. × アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）は肝臓や心筋などに含まれる酵素です。肝臓や心臓などに異常があると血中に逸脱します。急性心筋梗塞でも上昇しますが、トロポニンTより優先度は低いです。

[問題 92] 正解：2

1. × 心胸郭比（CTR）は50%を超えると心拡大とされています。Aさんは心胸郭比（CTR）48%のため心拡大ではありません。
2. ○ Forrester（フォレスター）分類はスワン・ガンツカテーテル挿入で得られるデータで血行動態を4群に分類したものです。Aさんはフォレスター分類Ⅱ群と診断されており、肺うっ血が起きています。
3. × 心係数は、血行動態を示す指標のひとつです。3.0±0.5L/分/m²が基準値で、2.2L/分/m²未満で末梢循環不全とされます。Aさんの心係数は2.4L/分/m²であるため、末梢循環不全が起きている状態とはいえません。
4. × 左室駆出率は概ね50%未満で左心室の収縮力が低下しているとされます。Aさんの左室駆出率は58%であるため、左心室の収縮力が低下しているとはいえません。

Forrester分類



[問題 93] 正解：3

1. × 側臥位にする理由はありません。出血の確認が最優先です。
2. × 除細動は不整脈の場合に、異常な電気興奮・伝導を除去する方法です。脈拍 58/分、整である A さんは除細動適応ではなく、現時点で準備をする必要があるとは考えづらいです。
3. ○ 経皮的冠動脈形成術（PCI）後の合併症として動脈穿刺部からの出血があります。血圧低下、顔面蒼白、冷汗がありショック状態と考えられるため、穿刺部の出血の確認を最初に行います。
4. × 痛みの訴えはないため、鎮痛薬の処方現時点では必要ありません。

[問題 94] 正解：2

1. × 急性アルコール中毒になると、歩行障害や嘔気、嘔吐、顔面紅潮、重症の場合は昏睡状態に陥ります。A さんは意識清明であるため考えにくいです。
2. ○ 食道静脈瘤破裂は、肝硬変の門脈圧亢進症に伴う症状です。約 1,100mL の吐血があることから、食道静脈瘤が破裂したことによるものだと考えられます。出血が続くと循環血液量が低下して出血性ショックに陥る可能性があります。A さんは血圧低下、頻脈、顔面蒼白、冷汗が認められており、出血性ショックを起こしています。
3. × 迷走神経反射は一時的な低血圧により、脳への血流が減少することで失神に至ります。A さんは血圧低下がみられますが、食道静脈瘤破裂による出血によるものであるため迷走神経反射は考え難いです。
4. × 血糖 102mg/dL であり、低血糖発作は考え難いです。

[問題 95] 正解：4

1. × 骨盤腔の検査時には、膀胱に尿が溜まっている方が観察しやすいため、検査終了時まで排尿しないように説明します。
2. × 腸内容物やガスの貯留は検査の妨げとなるため、検査前には下剤の内服や浣腸などによって腸管内の清浄化を図ります。
3. × 腹部超音波検査は超音波を体外から投射し、反射した超音波によって体内組織の状態を知る検査法です。造影剤を用いる必要がないので、アレルギーなどの心配はありません。
4. ○ 腹腔内に空気が多く存在すると、画像が見えにくくなります。食事の後では消化管内に空気が発生しやすくなるため、検査前は禁飲食になることを説明します。

[問題 96] 正解：1・5

1. ○ C型肝炎ウイルスによる肝硬変にアルコール飲料の多飲が加わると、肝癌の発症リスクが高まります。Aさんは毎日ウイスキーを飲んでいることから、禁酒する必要があります。
2. × 便秘になると腸内細菌が増殖してアンモニアの発生が助長されるため、肝性脳症の誘因となります。そのため、食物繊維の摂取を促し、排便コントロールを行います。
3. × 蛋白質の摂取によりアンモニアが発生し、肝性脳症の誘因となります。そのため、蛋白質の摂取は控える必要があります。
4. × カリウム制限が必要なのは腎不全などです。
5. ○ 極端に熱いもの、冷たいもの、固いものは刺激となり、食道静脈瘤が破裂する可能性があるため避ける必要があります。

[問題 97] 正解：3

脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血では、一時的に止血されることが多く、何らかの拍子で再び破裂し再出血する可能性が高いため、再出血を防ぐためには刺激を与えないことが重要であり、病室は薄暗くします。

1. ×
2. ×
3. ○
4. ×

[問題 98] 正解：4

1. × 血圧の変動をきたすため、急性期には浣腸は禁忌です。
2. × 排痰法による刺激で再出血を起こす可能性があるため、排痰法の練習はしません。
3. × テタニーとは、低カルシウム血症によって末梢神経の興奮性が高まり筋肉のけいれんを起こすもので、Aさんには考えにくいです。

4. ○ くも膜下出血など急性期の脳血管疾患では、交感神経の興奮により過剰なカテコラミン分泌に伴い不整脈を起こすと考えられています。

[問題 99] 正解：3

1. × 微熱であるため、腋窩のクーリングは必要ありません。
2. × まだ術後 24 時間であるため、酸素吸入は継続します。
3. ○ 脳室ドレナージが行われているため、0 点が変わらないように、起き上がらないように説明します。
4. × JCS I - 2 であるため、痛み刺激を与える必要はありません。

[問題 100] 正解：4

1. × 大腿骨頸部骨折では人工骨頭置換術が行われることが多いです。通常手術時間については執刀医から説明されます。その時間についての受け取り方は人それぞれであるため、看護師の主観で伝えることは適切ではありません。
2. × 手術は硬膜外麻酔か脊髄麻酔で行われることが多いです。手術後すぐに水分を摂取することはできません。
3. × 手術後、健側は自由に動かしてかまいません。患側は足趾の運動にとどめます。
4. ○ 円背があるため、仰臥位で眠れるように背部にクッションを当てます。

[問題 101] 正解：2

1. × Aさんの症状は立ち上がる時のふらつきです。したがってポータブルトイレを置くのではなく、ふらつきに対処できるものを用意することが必要です。
2. ○ 移動介助バーとはベッドから起き上がる際に身体を支えるための手すりのことをいいます。ベッドの側面に取り付けます。Aさんは立ち上がる際にふらふらすると訴えており、最も適しています。
3. × ベッドの頭部側を挙上しても解決にはなりません。
4. × ヒッププロテクターは転倒時の大腿骨頸部骨折を予防するためのものです。Aさんの不安に寄り添っていません。

[問題 102] 正解：4

1. × 骨粗鬆症に対しては適度な運動が重要です。
2. × 炭酸飲料にはリンが含まれている物が多く、リンはカルシウムの取り込みを阻害するため飲み過ぎには注意します。
3. × 果物で補えるのはカリウムなどであり、骨粗鬆症とは関連性はありません。

4. ○ 日光を浴びることでビタミンDが活性化されてカルシウムの吸収率がよくなります。

[問題 103] 正解：1

1. ○ Aさんは初めての場所に戸惑っています。無理に他の療養者と同じことをするのではなく、まずはAさんが好きなことをして過ごせるような配慮が必要となります。心配している妻に対しても同様の声かけが必要です。
2. × 妻が心配しているのはAさんの徘徊ではなくデイサービスに慣れるかどうかです。鍵をかけていることとは関連性がありません。
3. × 毎回付き添うのは妻の疲労を助長しません。デイサービスを利用する目的が、妻の介護負担を軽減するということから不適切です。
4. × 1人で居たのではデイサービスに来た意味がありません。

[問題 104] 正解：4

1. × Aさんは、初めての施設の中でトイレの場所が分からずにゴミ箱に排尿してしまったと考えられます。したがって、ゴミ箱を目立たないようにすることは解決にはなりません。
2. × 尿意の確認は必要ですが1時間ごとにする必要性はありません。Aさんの様子を観察して、トイレへ誘導していくことが必要です。
3. × Aさんはトイレでの排泄が可能であるためおむつを勧めることは不適切です。
4. ○ Aさんはおそらく慣れない場所でトイレが分からず、ゴミ箱に排尿してしまったものと考えられます。したがって慣れるまでの間は付き添うことが必要です。

[問題 105] 正解：4

1. × Aさんは入浴ができる状態なので、全身清拭を行う必要はありません。
2. × Aさんは浴槽に興味を示していましたが、今は「忙しくて時間がない」と言い、入浴を拒否しています。このことから、今のAさんに浴槽の説明をしても良い反応がみられる可能性は低いです。
3. × 妻の介護負担を軽減する目的で通所介護を利用することになったとの情報があるため、自宅での入浴を促すことは適切ではありません。
4. ○ 今は入浴を拒否しているため、無理強いせず時間をおいてから再度入浴を勧めてみます。

[問題 106] 正解：2

1. × 症状から卵を食べてしまったことによる食物アレルギーであることが分かります。まずアナフィラキシーショックに陥る可能性を考えて血圧や心拍数の観察を優先しておこないます。特に頻脈や不整脈を起こすことが多いため、心拍数の観察は必須です。

2. ○ 症状から卵を食べてしまったことによる食物アレルギーであることが分かります。まずアナフィラキシーショックに陥る可能性を考えて血圧や心拍数の観察を優先しておこないます。特に頻脈や不整脈を起こすことが多いため、心拍数の観察は必須です。
3. × 消化器症状としては、腹痛、嘔気・嘔吐、腹部膨満感、下痢などがみられることが多いため、それらを重点的に聴取します。
4. × 食物アレルギーによるアナフィラキシーはグレード1～3までと定義されています（日本小児アレルギー学会）。それによると、まず皮膚症状として蕁麻疹の程度・範囲の確認を重要としています。したがって、血圧や心拍数のチェックをおこなった後、速やかに蕁麻疹の観察をおこないます。

[問題 107] 正解：3

母親は我が子の安否を気にして不安がっているため、現在までのAちゃんの様子を説明します。また救命処置が終われば、すぐに面会できるように配慮します。

1. ×
2. ×
3. ○
4. ×

[問題 108] 正解：3

1. × 症状は落ち着いて退院となっていることから、保育所を休む必要はありません。
2. × 保育所では卵を除去した給食が提供されているとあるため、あらためて栄養士に相談する必要はありません。
3. ○ 今回は他の園児の食事を食べてしまったことによって発症しています。したがって、同じことが起こらないように保育士に相談すると良いです。
4. × 園児にはアレルギーの話は難しく、確実な予防は望めません。

[問題 109] 正解：1

妊娠8週で嘔気があるというAさんはつわりの状態であると考えられます。つわりの対処法には、i. 空腹を避ける、ii. 食べたいときに少量ずつ食べる、iii. 臭気で気分不快を訴える場合が多いので、においがたつ温度の高い食品は避ける、などがあります。

1. ○ 空腹を避けると症状は緩和することが多いです。
2. × つわりが塩味の濃いもので軽減されるということはありません。また、つわりの時期は食べたいものを食べたいだけ、つまり少しでも口にできるものは食べるようにするということが基本ですが、塩味が濃いものを食べて摂取食塩量が増加することは望ましくありません。
3. × 規則正しく3食摂るのは難しいため、食べられるときに少しずつ摂取するように指導します。

4. × つわりの時期は、調理をするのもつらいときがあります。市販の調理済みの食品を上手く活用して、調理時間を短くするようにアドバイスをすることもあります。

[問題 110] 正解：3

妊娠中の理想的な体重増加は、非妊娠時の体重（BMI）で決められます。

Aさんの非妊娠時のBMIは、

$$= \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$$

$$= 60 \div (1.6)^2 = 23.4375 \approx 23.4 \text{ で標準となるので、} 10 \sim 13 \text{kg となります。}$$

1. ×
2. ×
3. ○
4. ×

妊娠中の体重増加指導の目安

妊娠前の体格	BMI	体重増加量指導の目安
低体重	18.5未満	12～15kg
普通体重	18.5以上25.0未満	10～13kg
肥満（1度）	25.0以上30未満	7～10kg
肥満（2度以上）	30以上	個別対応(上限5kgまでが目安)

厚生労働省「妊産婦のための食生活指針」改定の概要（2021年3月）を参考に作成

[問題 111] 正解：1

1. ○ 育児休業は、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法）に規定されているもので、両親ともに取得できます。つまり夫も適用となります。
2. × 育児時間は、労働基準法に規定されているもので、母親だけが取得できるものです。
3. × 休日労働の制限は、労働基準法に規定されているもので、妊産婦に適用されません。
4. × 勤務時間の変更は、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）に規定されているもので、妊産婦に適用されません。

[問題 112] 正解：4

子宮収縮抑制薬（リトドリン塩酸塩）投与後に注意すべき症状として、心血管系への影響によって現れる動悸や頻脈、不整脈などがあります。そのため、投与開始後は脈拍を注意して観察する必要があります。

1. ×
2. ×
3. ×
4. ○

[問題 113] 正解：3

妊娠末期の妊婦が仰臥位をとることにより、増大した子宮によって下大静脈が圧迫され、下半身からの静脈血還流が阻害されて心拍出量が減少し、血圧が低下することを仰臥位低血圧症候群といい、気分不快、嘔吐、めまいなどの低血圧の症状が現れます。Aさんは仰臥位になっており、「気分が悪い」と訴えていることから、仰臥位低血圧症候群となっている可能性が高いです。下大静脈は身体の右側を走行しているので、症状の改善のために左側臥位の体位をとって下大静脈の圧迫を解除することが優先されます。

1. ×
2. ×
3. ○
4. ×

[問題 114] 正解：1

1. ○ 妊娠 22 週 0 日から妊娠 36 週 6 日までの出産を早期産といいます。Aさんは妊娠 36 週 5 日での分娩であるため、早期産です。
2. × 分娩時出血量が 500mL を超える場合を分娩時異常出血といいます。Aさんの分娩時出血量は 350mL のため異常出血ではありません。
3. × 分娩開始前の破水を前期破水といいます。Aさんは子宮口全開大ころに破水をしており、この時期の破水は適時破水です。
4. × Apgar（アプガー）スコアは通常出生 1 分後、5 分後に測定されます。7 点以下（6 点以下とする文献もある）で新生児仮死と判定されます。Aさんの児のアプガースコアは 1 分後、5 分後ともに 8 点以上であるため、新生児仮死ではありません。

[問題 115] 正解：4

1. × 生きていれば良いことがありますよという声かけは励ましにあたります。うつ病患者に対しての励ましは、相手の期待にそえない自分を責めたり、自分のつらさを理解してもらえないと思いを込めたりするきっかけになることがあるため、不適切です。
2. × 抗うつ薬の効果は服用開始から 1～2 週間かかるため、数日で効いて楽になるという対応は不適切です。

3. × 「悲しいことが続くときは誰にでもあります」という声かけは、患者にとっては自分のつらさを理解してもらえないと感じるため、不適切な対応です。
4. ○ Aさんは看護師に不安や悲観的な思いを話しています。まずはAさんの思いを受け止めることが大切です。

[問題 116] 正解：1

修正型電気けいれん療法（m-ECT）とは、手術室において麻酔科医による全身麻酔下で、筋弛緩薬を併用し、頭蓋外からの通電により精神症状の改善を図る治療法です。100ボルト前後の交流電流を用いて両側前頭部に5秒程度通電します。1日1回、週1～3回のペースで合計6～12回施行します。適応疾患としては、薬に反応しない重症のうつ病、双極性障害、統合失調症、精神病症状を伴うパーキンソン病などです。

1. ○ せん妄とは、軽い意識障害により、周囲の状態を十分に認識できなくなる状態です。せん妄は修正型電気けいれん療法の有害反応のひとつです。Aさんが突然起き上がり興奮し、仕事に行くと行って病室から出て行こうとしたのは、せん妄によるものと考えられます。修正型電気けいれん療法の他の有害反応としては、不整脈や高血圧、低血圧、記憶障害、遷延性発作、遷延性無呼吸、頭痛、筋肉痛、嘔気などがあります。
2. × 躁状態とは、明朗快活さが遺憾なく発揮される軽躁状態から始まり、ごく少ない睡眠で日夜動きまわっていても疲労感がなく、高揚した爽快な気分のまま次々に関心が拡大し行動化する状態です。Aさんにはみられていません。
3. × 不安発作とはパニック発作ともいわれ、不安が病的に高まったときに動悸や胸痛、窒息感、呼吸困難、発汗、ふるえ、吐き気、めまい、非現実感などの症状が突然出現し、短期間にピークに達する発作です。Aさんにはみられていません。
4. × 前向性健忘とは意識障害からの回復後に、それ以降の新しいことを記憶できず、思い出せないという記憶障害です。Aさんにはみられていません。

[問題 117] 正解：3

1. × 森田療法とは、不安を取り除こうとするのではなくあるがままに受け入れることで、よりよく生きようとする欲望のために建設的な行動をとることを目指すものです。森田療法は強迫症やパニック症などの神経症性障害の患者が対象で、うつ病のAさんには認知行動療法が適しています。
2. × 集団精神療法はグループサイコセラピーともいわれます。治療者と複数のメンバーが同じ場所と時間を共有し、言語的・非言語的交流をすることで、個人精神療法における治療者対患者の関係をこえた集団力動（グループダイナミクス）が生まれ、メンバーは苦痛な現実とも向き合えるようになり、自己や他者についての気づきとともに感情や認識、そして行動に変化がもたらされていくものです。うつ病も対象疾患とはなりますが、食事や睡眠がようやく取れるようになったAさんに集団療法を行うのは時期が早いです。

3. ○ 認知行動療法とは、患者が抱える生活上の問題について、特に認知（ものの受け取り方や考え方）と行動に働きかけながら、困りごとから抜け出す方法を探る療法です。患者は治療的面接を通して、問題を維持する認知や行動の悪いパターン・癖を知り、さらに考え方や行動の幅を広げて柔軟にすることで、気分や身体を楽にする、行動をコントロールしていくなど、患者が主体となって問題解決に取り組んでいくものです。Aさんは「何をやってもきっと失敗するだけだ。今度はもっと大きな失敗をして仕事を辞めることになる。だから自分はだめな人間だ。努力しても意味がない」と話しており、この認知の歪みを修正するには認知行動療法が最も適切です。
4. × 社会生活技能訓練（SST）とは認知行動療法のひとつで、ソーシャルスキルトレーニングとも言われます。SSTでは社会で人と関わるときのコミュニケーションの方法や日常生活を営む上での生活スキルを学習していくものです。Aさんは大きな失敗が原因でうつ状態となっていますが、対人関係技能に問題があつて起こったものかどうかの判断はできません。また、自分はだめな人間と発言しているAさんに、そのようなトレーニングを行うことは、他者は自分に問題があると評価しているとAさんが捉えてしまうことともなりかねず、適切ではありません。

[問題 118] 正解：1

1. ○ まずは、患者全員の安全を確認することが必須です。
2. × 安全が確認できたら、患者を安全な場所へと誘導します。
3. × 火災が起こらないように、ガスの元栓は閉めます。水道やガスの被害状況は、管理責任者を中心に通常設備課などの担当部署が行いますが、優先度が高いのは安全確認です。
4. × 病院全体の安全が確認できれば、一斉放送で通知します。

[問題 119] 正解：3

1. ○ 軽症と思われる患者には歩いてもらい、歩けるような傷であれば緑色のタグをつけます。
2. ○ 重症者は呼吸の確認を行います。
3. × トリアージは迅速さが必要であるため、血圧測定はトリアージが終わってから行います。
4. ○ 重症者は従命反応を見て、意識の確認を行います。

[問題 120] 正解：2

まず意識を確認してから頸動脈を触診します。意識がなければ大声で応援を呼び、頸動脈が触れなければ、直ちに胸骨圧迫を行います。AEDが届き次第装着し実施します。

1. ×
2. ○
3. ×
4. ×